事務事業の概要・計画(PLAN)

事務事業名	保健衛生総務一般事務	会計名称					一般会	計		担当課	健康増進課					
尹仍尹未乜	休晚伸生秘伤 双事伤	予算科目	1 款 1 項 1				目	事業番号	2030	所属長名	大西昌治					
事業評価の有無	□ 評価対象事業 ■	担当責任者名		篠原知美												
法令根拠等									0		【開始】	平成	17	年度		
総合計画での	健康福祉都市の創造									実 施 期 間	【終了】	平成		年度(予定)		
位置付け	生涯にわたる健康づくり										Γψ≲ 1 Δ			設定なし		
総合計画における 本事業の役割	こおける 必要職員数(育児休業の代替)や救護所開設時の救護ボックス医薬品等の確保などに努めるとともに、適時、健康管理システムによる市民の迅速な情報収集を実施することができる体制 つ役割 を構築することで、生涯にわたる健康づくりに努める。															
事業の対象	市民				事業の	目的	健月これ	表増進課の主 いに含まれな	E要な事業に い事業を本	ついては、各事業ご 事業で一括して管理	ごとに評価 単・評価を	を行うこ 行うもの	ととする	しているが、 る。		
事業の内容 (整備内容)	育児休業の代替職員の賃金の確保、1日食品衛生監視員型インフルエンザ対策、、健康管理システム保守業務等内容	の謝礼、災害時態保健衛生全般にお	枚護所や ったる業	. 74r	西事業と ととし	: しな た理由	い 健原	東増進課事業 し、管理して	だを実施する。 いる事務で	上で、コピー代や4 あるため	:用車のガ	ソリン代	など	必要経費を計		

事業活動の内容・成果 (DO)

			事	業	- 1	貴 万	ኒ (Ķ	財	原内	j	訳	(千	円))			事	業	活	動	の	実 績	(活	5 動	指 標)	
	IJ	Ą			目	前年	度決算	当初	予算額	補正予	5算額	継続費	その他	翌年月	度繰越	決算額	頁		項	目		単	位 2	29 年度実績	30 年	度予定	9月末の実績	30	年度実績
	直	接	事	業	費		4,800		8,729		0		0		0	8	600												
		国	庫 3	支 出	金				0		0		0		0		0	臨時職	員賃金			P	-	1996240	6	105000	206942	3	6023648
,		県	支	出	金				0		0		0		0		0												
1		地	7	方	債				0		0		0		0		0												
	į 📗	そ	(カ	他				0		0		0		0		0	複写機	使用料			P	-	264527	4	226000	9205)	202018
		_	般	財	源		4,800		8,729		0		0		0	8	600												
	哉員(の人.	エ(こんく	() 数		0.00		0.00							(0.00												
1	人工	当た	りの	人件:	費単価		8,017		7, 982							7	982	印刷機	リース	의		P	-	293616	4	214000	9390	3	213732
	₩ į	直接	事業領	費+丿	人件費		4,800		8, 729							8	600												
		主な	実施	主体						実施形理料・	態(補 委託料	前助金・持 事の記載	指定管 載欄)																
						ф- 2	5年間/	ア平井	古坐弗の	N+#+ #4					31	年度		32	年度		33 4	丰度		34 年度	3	35 年	度 5年	間の	合計
						回こう	5 平间(ル 直接 (千円)	事業費♂	が任例						5, 516			5, 516			5, 516		5, 516					22, 064

事務事業評価 (CHECK)

自己判定 (担当責任 者)	事業の成果			
		■ 事業継続と判断する。		
一次判定	事業の 方向性	□ 事業縮小と判断する	判断の理由	健康増進課事業を実施するうえで、全般にかかる経費を一括管理していくために事業継続とする。
		□ 事業廃止と判断する		

	■ 一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進
		に努め、今年度の事務事業評価シートに 反映させること。
二次判定		
	□ 一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
	□ 一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
	□ 既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	
	ж нон -	
	答申の内容	
行政評価委員会の答申		
外 部 評 価		
今後の方向性 (ACTION)		
分談の分別門上(MOTTON)	事業の方向性コメント欄	
	□ さらに重点化する。	
4- W -4 A -44	■ 現状のまま継続する。	
経営者会議 の最終判断	□ 右記の点を見直しの上、継続する。	
	事業の縮小を行う。	
the state of the s		